

⑮ 5世紀の東アジア



掲載:資料カラー歴史P27①A 総合歴史P19② つながる歴史P21①
学び考える歴史P19②B

第一段階

- Q : 中国にはいくつの国があるのかな？
Q : 倭の王の使者は、中国のどの国に使者を送ったのかな？
Q : 仏教は中国のどこに伝わったのかな？

第二段階

- A : この時代の中国は、南北に国が対立して、その中で王朝が変わっていったから、南北朝時代というよね。黄河は、どちらの国を流れていたのかな？
B : 北魏だね。ところで倭の王が使いを送ったのは？
A : 南の宋。倭の王は宋の王に、自分の支配地を認められたよ。
B : じゃあ、仏教はどのように伝わったのかな？
A : シルクロードで伝わったのではないかな？
B : そうなると、まず北の方に入り、それから各地に広まったといえるね。
A : 石窟寺院や、石の大仏がつくられたよ。
B : 達磨 (だるま) という僧が禅宗を開いたのもこのころだね。

第三段階

第二段階について

- ① 中国が南北に分かれるときの国境は、黄河の南から長江の北の間になることが多いです。北は畑作地帯、南は水田地帯が多いので、文化や生活に差がありました。馬を交通手段にする北と、船を使う南ということで、「南船北馬」という言葉があります。
- ② 倭は、三国時代の魏のあとに続いた晋、さらに宋というように、南朝と関係を持ちつづけました。
- ③ 日本に仏教が伝わった道を逆にたどると、新羅や百済から高句麗をへて北魏にたどりつきます。
- ④ 朝鮮半島では、仏教が南朝からも伝わりました。よって、日本の飛鳥時代の仏像を見ると、北だけでなく、南の仏教文化の影響を受けた仏像もあります。
- ⑤ 仏教は、紀元前後（漢の時代）に中国に伝わりましたが、各地に広まったのは4世紀～5世紀です（ちなみに日本は6世紀）。